2024年度

学校教育診断　アンケート結果

2024年度　学校教育診断アンケート　回答率

生　　徒			
	中学	高校	全体
回答数	60	834	894
在籍数	67	914	981
割合	90%	91%	91%

保　護　者	
	全体
回答数	673
在籍数	981
割合	69%

教　　員	
	全体
回答数	53
在籍数	57
割合	93%

2024年度 学校教育自己診断アンケート 質問項目

保護者用

1	1	お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる
	2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している
	3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している
2	4	教員は、保護者の相談に適切に対応してくれる
	5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている
	6	本校は、授業参観など保護者が来校する機会をよく設けている
3	7	入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる
	8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている
	9	入学後、お子様の礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる
4	10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している
	11	入学後、お子様の、自分の意見や考えを表現する力が向上した
	12	入学後、お子様が自身の進路や生き方を考える機会が増えた
5	13	お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる
	14	お子様は、本校の学校行事に満足している
	15	入学後、お子様が読書をする機会が増えたと感じられる
6	16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる
	17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している
	18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる
7	19	本校の施設・設備面は、お子様が学習する環境として充実している
	20	本校の教育活動を通じて、お子様が内面的に成長したと感じられる
	21	お子様を、本校に入学させてよかったと思う

生徒用

1	1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる
	2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している
	3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している
2	4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている
	5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている
3	6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である
	7	本校に入学して、自主性が向上した
	8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている
	9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した
4	10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している
	11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した
	12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた
5	13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる
	14	本校の学校行事に満足している
	15	入学後、読書をする機会が増えた
6	16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる
	17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している
	18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる
7	19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している
	20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる
	21	本校に入学してよかったと思う

教職員用

1	1	本校は、生徒の学力向上に向けて組織的に取り組んでいる
	2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している
	3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している
2	4	教員は、生徒との面談や保護者からの相談に適切に応じている
	5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている
3	6	本校は、体罰やセクシャルハラスメント防止を意識した生徒指導をおこなっている
	7	本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している
	8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている
4	9	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している
	10	本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている
	11	本校は、生徒に進路や生き方を考えさせる機会をよく設けている
5	12	生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる
	13	生徒は、本校の学校行事に満足している
	14	本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している
6	15	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる
	16	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している
	17	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる
7	18	本校の施設・設備面は、生徒が学習する環境として充実している
	19	本校は、生徒の内面的成長につながる教育活動をおこなっている
	20	本校の職場環境に満足している
他	21	部長・主任職は各部署をよくまとめ、指導的役割を果たしている
	22	管理職は、現場教員の声に耳を傾けている
	23	管理職は、学校目標達成に向け、リーダーシップを発揮している
	24	教職員は、学校運営に支障がないよう自己責任を意識して行動している

《 2024年度の重点目標 》

- …主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成
- …情報モラル教育の推進と更なるICT機器活用力の向上
- …協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

領域1：教育目標・学習指導　領域2：生徒・保護者対応　領域3：生活指導　領域4：進路指導　領域5：学校行事・諸活動　領域6：安全管理・生活環境　領域7：学校満足度

2024年度　学校教育診断(生徒用)　アンケート結果(中学)

設問番号	①よくあてはまる　②ややあてはまる　③あまりあてはまらない　④あてはまらない	実数				割合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	17	26	14	3	28%	43%	23%	5%	72%	28%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	39	19	2	0	65%	32%	3%	0%	97%	3%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	30	26	4	0	50%	43%	7%	0%	93%	7%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	34	22	4	0	57%	37%	7%	0%	93%	7%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	42	15	3	0	70%	25%	5%	0%	95%	5%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	26	27	5	2	43%	45%	8%	3%	88%	12%
7	本校に入学して、自主性が向上した	22	26	10	2	37%	43%	17%	3%	80%	20%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	29	27	4	0	48%	45%	7%	0%	93%	7%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	29	24	6	1	48%	40%	10%	2%	88%	12%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	33	25	2	0	55%	42%	3%	0%	97%	3%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	27	25	7	1	45%	42%	12%	2%	87%	13%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	33	20	7	0	55%	33%	12%	0%	88%	12%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	22	26	9	3	37%	43%	15%	5%	80%	20%
14	本校の学校行事に満足している	35	19	5	1	58%	32%	8%	2%	90%	10%
15	入学後、読書をする機会が増えた	25	18	11	6	42%	30%	18%	10%	72%	28%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	22	27	8	3	37%	45%	13%	5%	82%	18%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	29	25	4	2	48%	42%	7%	3%	90%	10%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	40	18	2	0	67%	30%	3%	0%	97%	3%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	37	18	4	0	63%	31%	7%	0%	93%	7%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	30	27	3	0	50%	45%	5%	0%	95%	5%
21	本校に入学してよかったと思う	35	19	5	1	58%	32%	8%	2%	90%	10%

2024年度　学校教育診断(生徒用)　アンケート結果(高校)

設問番号	①よくあてはまる　②ややあてはまる　③あまりあてはまらない　④あてはまらない	実数				割合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	238	324	191	81	29%	39%	23%	10%	67%	33%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	519	246	46	23	62%	29%	6%	3%	92%	8%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	389	363	64	18	47%	44%	8%	2%	90%	10%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	471	305	41	17	56%	37%	5%	2%	93%	7%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	493	286	42	13	59%	34%	5%	2%	93%	7%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	314	409	71	40	38%	49%	9%	5%	87%	13%
7	本校に入学して、自主性が向上した	240	397	127	70	29%	48%	15%	8%	76%	24%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	336	403	72	23	40%	48%	9%	3%	89%	11%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	298	381	112	43	36%	46%	13%	5%	81%	19%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	474	295	46	19	57%	35%	6%	2%	92%	8%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	284	394	123	33	34%	47%	15%	4%	81%	19%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	470	302	41	21	56%	36%	5%	3%	93%	7%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	334	231	136	133	40%	28%	16%	16%	68%	32%
14	本校の学校行事に満足している	294	347	136	57	35%	42%	16%	7%	77%	23%
15	入学後、読書をする機会が増えた	71	124	259	380	9%	15%	31%	46%	23%	77%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	345	364	98	27	41%	44%	12%	3%	85%	15%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	394	352	64	24	47%	42%	8%	3%	89%	11%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	480	287	44	23	58%	34%	5%	3%	92%	8%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	475	308	33	18	57%	37%	4%	2%	94%	6%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	352	353	90	39	42%	42%	11%	5%	85%	15%
21	本校に入学してよかったと思う	382	326	80	46	46%	39%	10%	6%	85%	15%

2024年度　学校教育診断(生徒用)　アンケート結果(学年別)

設問番号	①よくあてはまる　②ややあてはまる　③あまりあてはまらない　④あてはまらない	中学		高1		高2		高3		高校	
		ﾌﾟﾗｽ	ﾏｲﾅｽ	ﾌﾟﾗｽ	ﾏｲﾅｽ	ﾌﾟﾗｽ	ﾏｲﾅｽ	ﾌﾟﾗｽ	ﾏｲﾅｽ	ﾌﾟﾗｽ	ﾏｲﾅｽ
1	自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	72%	28%	58%	42%	61%	39%	87%	13%	67%	33%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	97%	3%	90%	10%	90%	10%	95%	5%	92%	8%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	93%	7%	93%	7%	87%	13%	90%	10%	90%	10%
4	教員は、生徒が相談したとき適切に応じてくれている	93%	7%	95%	5%	92%	8%	92%	8%	93%	7%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	95%	5%	96%	4%	89%	11%	95%	5%	93%	7%
6	本校の生活指導について、教員の指導は適切である	88%	12%	92%	8%	80%	20%	86%	14%	87%	13%
7	本校に入学して、自主性が向上した	80%	20%	79%	21%	68%	32%	81%	19%	76%	24%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	93%	7%	94%	6%	84%	16%	87%	13%	89%	11%
9	本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した	88%	12%	85%	15%	76%	24%	82%	18%	81%	19%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	97%	3%	96%	4%	88%	12%	91%	9%	92%	8%
11	入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した	87%	13%	81%	19%	78%	22%	86%	14%	81%	19%
12	入学後、自分の進路や生き方を考える機会が増えた	88%	12%	94%	6%	89%	11%	95%	5%	93%	7%
13	自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	80%	20%	72%	28%	62%	38%	69%	31%	68%	32%
14	本校の学校行事に満足している	90%	10%	83%	17%	72%	28%	74%	26%	77%	23%
15	入学後、読書をする機会が増えた	72%	28%	24%	76%	27%	73%	19%	81%	23%	77%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	82%	18%	91%	9%	82%	18%	79%	21%	85%	15%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	90%	10%	94%	6%	85%	15%	89%	11%	89%	11%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	97%	3%	93%	7%	90%	10%	92%	8%	92%	8%
19	本校の施設・設備面は、自身が学習する環境として充実している	93%	7%	96%	4%	91%	9%	94%	6%	94%	6%
20	本校に入学して、自身が内面的に成長したと感じられる	95%	5%	87%	13%	79%	21%	87%	13%	85%	15%
21	本校に入学してよかったと思う	90%	10%	87%	13%	80%	20%	87%	13%	85%	15%

2024年度　学校教育診断(保護者用)　アンケート結果(全体)

設問番号	①よくあてはまる　②ややあてはまる　③あまりあてはまらない　④あてはまらない	実数				割合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる	219	242	138	74	33%	36%	21%	11%	68%	32%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	431	201	34	7	64%	30%	5%	1%	94%	6%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	228	376	60	8	34%	56%	9%	1%	90%	10%
4	教員は、保護者の相談に適切に対応してくれる	334	284	39	14	50%	42%	6%	2%	92%	8%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	430	216	22	5	64%	32%	3%	1%	96%	4%
6	本校は、授業参観など保護者が来校する機会をよく設けている	386	258	23	6	57%	38%	3%	1%	96%	4%
7	入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる	226	307	112	28	34%	46%	17%	4%	79%	21%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	205	398	57	8	31%	60%	9%	1%	90%	10%
9	入学後、お子様の礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる	122	398	132	19	18%	59%	20%	3%	77%	23%
10	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	276	319	62	14	41%	48%	9%	2%	89%	11%
11	入学後、お子様の、自分の意見や考えを表現する力が向上した	150	342	156	24	22%	51%	23%	4%	73%	27%
12	入学後、お子様が自身の進路や生き方を考える機会が増えた	254	309	93	17	38%	46%	14%	3%	84%	16%
13	お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	229	200	155	87	34%	30%	23%	13%	64%	36%
14	お子様は、本校の学校行事に満足している	219	359	81	12	33%	54%	12%	2%	86%	14%
15	入学後、お子様が読書をする機会が増えたと感じられる	35	101	317	219	5%	15%	47%	33%	20%	80%
16	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	185	389	76	18	28%	58%	11%	3%	86%	14%
17	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	248	382	35	4	37%	57%	5%	1%	94%	6%
18	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	383	268	17	3	57%	40%	3%	0%	97%	3%
19	本校の施設・設備面は、お子様が学習する環境として充実している	397	241	32	3	59%	36%	5%	0%	95%	5%
20	本校の教育活動を通じて、お子様が内面的に成長したと感じられる	211	358	92	11	31%	53%	14%	2%	85%	15%
21	お子様を、本校に入学させてよかったと思う	379	243	39	11	56%	36%	6%	2%	93%	7%

2024年度　学校教育診断(教員用)　アンケート結果

設問番号	①よくあてはまる　②ややあてはまる　③あまりあてはまらない　④あてはまらない	実数				割合				プラス	マイナス
		①	②	③	④	①	②	③	④		
1	本校は、生徒の学力向上に向けて組織的に取り組んでいる	36	17	0	0	68%	32%	0%	0%	100%	0%
2	本校は、iPadやClassiなどのICTツールを有効的に活用している	44	8	1	0	83%	15%	2%	0%	98%	2%
3	本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している	33	20	0	0	62%	38%	0%	0%	100%	0%
4	教員は、生徒との面談や保護者からの相談に適切に応じている	48	5	0	0	91%	9%	0%	0%	100%	0%
5	Classi・メール配信・ホームページなどで、学校の情報は適切に伝えられている	37	15	1	0	70%	28%	2%	0%	98%	2%
6	本校は、体罰やセクシャルハラスメント防止を意識した生徒指導をおこなっている	29	21	3	0	55%	40%	6%	0%	94%	6%
7	本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している	14	29	8	2	26%	55%	15%	4%	81%	19%
8	本校は、情報モラル教育を十分に行っている	17	21	14	1	32%	40%	26%	2%	72%	28%
9	本校は、進路に関する情報をきめ細かく提供している	44	9	0	0	83%	17%	0%	0%	100%	0%
10	本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている	28	21	4	0	53%	40%	8%	0%	92%	8%
11	本校は、生徒に進路や生き方を考えさせる機会をよく設けている	32	18	3	0	60%	34%	6%	0%	94%	6%
12	生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる	17	28	8	0	32%	53%	15%	0%	85%	15%
13	生徒は、本校の学校行事に満足している	32	17	4	0	60%	32%	8%	0%	92%	8%
14	本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している	22	21	10	0	42%	40%	19%	0%	81%	19%
15	本校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	33	17	3	0	62%	32%	6%	0%	94%	6%
16	本校は、生徒の事件事故防止や健康安全について十分配慮している	32	17	4	0	60%	32%	8%	0%	92%	8%
17	本校は、校内の清掃指導、美化活動に十分取り組んでいる	28	19	6	0	53%	36%	11%	0%	89%	11%
18	本校の施設・設備面は、生徒が学習する環境として充実している	26	17	8	2	49%	32%	15%	4%	81%	19%
19	本校は、生徒の内面的成長につながる教育活動をおこなっている	24	26	3	0	45%	49%	6%	0%	94%	6%
20	本校の職場環境に満足している	30	18	5	0	57%	34%	9%	0%	91%	9%
21	部長・主任職は各部署をよくまとめ、指導的役割を果たしている	29	19	3	2	55%	36%	6%	4%	91%	9%
22	管理職は、現場教員の声に耳を傾けている	23	16	10	4	43%	30%	19%	8%	74%	26%
23	管理職は、学校目標達成に向け、リーダーシップを発揮している	22	19	10	2	42%	36%	19%	4%	77%	23%
24	教職員は、学校運営に支障がないよう自己責任を意識して行動している	30	21	2	0	57%	40%	4%	0%	96%	4%

大阪青凌中学校高等学校
2024 年度 学校教育診断 結果報告

A 本年度の教育活動（主要行事の実施概要）

①体育祭

日程：2024 年 5 月 22 日（水）実施
会場：丸善インテックアリーナ大阪
方針：「繋がる体育祭」…生徒の縦と横のつながり、過去から未来へのつながり、教員間・教員と生徒のつながりを意識する
目標：①積極的に取り組み、主体性・協調性を身に付け、学校生活に前向きな生徒を育成する
②中高・学年の枠を越えて団結し、一体となって魅力ある行事を構築する
③実行委員が企画し、リーダーシップを身に付け、行事を運営する
スローガン：「巻き起こせ 笑顔の BIG WAVE!」
生徒満足度（肯定的評価）：中学→98.5% 高 1→ 97.1% 高 2→97.4% 高 3→98.9%
実行委員満足度（肯定的評価）→90.4 %
保護者来場者数：973 名

※昨年度より、「つながる」「つなぐ」ことを意識しつつ、今年度も、有志生徒による実行委員を中心とした運営を行った。今年度の実行委員は、中心メンバー21 名、委員 32 名の、計 53 名。予行から本番まで、基本的には実行委員が中心となってプログラムが進行し、また、本番では、大型ビジョンを活用することで、観客にも、競技の様子が非常によく伝わった。

②青凌祭

日程：2024 年 9 月 6 日（土）・9 月 7 日（日）
会場：トリシマホール【旧高槻現代劇場】（初日）、本校（2 日目）
目標：①クラス（集団）の個性を見つけ表現する
②クラス（集団）のためにそれぞれが全力を尽くす
③クラスや学年の垣根を越え、一人ひとりの輪を広げる
スローガン：「魅せろ! 交われ個性のグラデーション!!」
生徒満足度（肯定的評価）：初日 99.2%、2 日目 99.3%
保護者来場者数：初日 205 名（発表クラスの保護者のみ）、2 日目 890 名

※昨年度の形を踏襲しつつ、一つひとつの取り組みの質を高め、かつ生徒の満足度が高いものを目指して取り組んだ結果、生徒の満足度は両日ともに 99%を超す高評価であった。体育祭同様、公募によって集まった実行委員（高 1～高 3、36 名）が土台の部分（ガイドライン等）や全体の企画について検討し、本番も実行委員が中心になって運営をおこなった。

③修学旅行

【高校2年生】

日程：国内　2024年10月17日（木）～21日（月）4泊5日

　　海外　2024年10月15日（火）～21日（月）6泊7日

行先：北海道・沖縄・オーストラリア（選択制）

目標：①豊かな自然に触れながら、働く人との交流をする中で、仕事に対する見識を深め、将来像を具体化する

②多くの人々との交流を通して、コミュニケーション能力を高める

③団体行動のルールを遵守し、主体性、協調性を養う

業者：JTB

北海道方面

行程：ルスツ～札幌～小樽

生徒：150名

生徒満足度（肯定的評価）：96.9%

目標達成度（肯定的評価）：１．92.6%　２．92.7%　３．94.5%

沖縄方面

行程：那覇～西表島～石垣島

生徒：86名

生徒満足度（肯定的評価）：100%

目標達成度（肯定的評価）：１．94.1%　２．95.3%　３．97.7%

オーストラリア方面

行程：メルボルン～フィリップ島

生徒：54名

生徒満足度（肯定的評価）：97.8%

目標達成度（肯定的評価）：100%

※3方面ともに、満足度が非常に高く、また目標についても、概ね達成できているという結果であった。特に目標の1番目にある「仕事に対する見識を深める」イベントとして設定している「キャリア体験」「社会人交流」について、普段は大人しい様子の生徒も、社会人の経験談を積極的に聞き、質問している様子も多く見られ、満足度も高かった。なお、修学旅行委員については、1年次のうちに委員長・副委員長を決定し、目標やルール決め、スマホの使い方などについて話し合い、しおりを作成した。また、出発時や食事時の挨拶や号令、呼びかけ等もすべて委員がおこなった。

【中学 3 年生】

日程：2024 年 10 月 16 日（水）～23 日（水）7 泊 8 日

行先：オーストラリア　ゴールドコースト方面

目標：①校訓「自主自律」の精神のもと、国際交流・異文化体験を通じて自己を成長させる

②まちがいを恐れず、英語を積極的に使い、言葉の壁を乗り越えた心のコミュニケーションをはかる

生徒満足度（5 点満点）：ホームステイ 4.7・現地校研修 4.4

目標達成度（5 点満点）：ホームステイ 4.3・現地校研修 4.3

※中学部の海外研修は、入学時からのコミュニケーション能力・プレゼンテーション力の育成を目指した取り組みの集大成行事として位置付けている。生徒たちは、オーストラリアでのホームステイと現地校での学びを通じて、自ら動き、伝えるというコミュニケーションの核となる部分を鍛えることができた。中 2 で実施する信楽での民泊体験と違い、日本語が伝わらず、また自分の意思をくみ取ってくれるわけではない環境の中、生徒たちはホストファミリーや現地校のバディに、必死に思いを伝えようとすることができた。もちろん、すべて円滑に進んだわけではなく、もどかしい思いをした場面もたくさんあった。しかしながら、それも含めて生徒たちの学びとなった。

B　本年度の重点目標

本年度の重点目標は、以下の 3 点である。なお、重点目標は 3 年間は固定し、年度ごとに目標への達成度をアンケートで確認する。本年は、3 年サイクルの 2 年目にあたる。アンケート対象者は、生徒・保護者・教員である。

①重点目標 1　主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成

②重点目標 2　情報モラル教育の推進と更なる ICT 機器活用力の向上

③重点目標 3　協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

以下、それぞれについて、アンケート結果を検証する。

<u>重点目標 1　主体的に学ぶ意欲・態度の伸長と確かな学力の育成</u>

→校地移転・コロナ禍を経て、全体的な行事の見直しを図りつつも、体育祭・文化祭・修学旅行については、改めて、本校の主要三大行事として位置付けている。各種行事や委員会活動、また MT（マネジメントタイム）や読書活動を通じての主体性・自主性伸長について検証する。

Ⓟ評価指標

生徒対象　　学校教育診断アンケート　設問番号 1・7・13

保護者対象　学校教育診断アンケート　設問番号 1・7・13

教職員対象　学校教育診断アンケート　設問番号 7・12

Ⓓ取組状況

〔体育祭・青凌祭・修学旅行〕

三大行事の実施概要については、先述のとおりである。

〔生徒会・委員会活動〕

生徒会（中高別、週 1 回）・各種委員会（月 1 回）・常任委員会（学期 1 回）を通じて、生徒に向けては、校内美化・あいさつ・持ち物の管理についての啓発を行った。また、代議員が中心となって生徒の意見を集約し、年末には中高生徒会役員と教員による意見交換会が実施された。なお、今年度は、生徒会役員が中心となり、中高役員それぞれに以下のイベントの企画・運営を行った。

- 11/17：秋の交流行事「集まれ! Seiryo Dream Fes」（中学生徒会主催）
- 12/17～18：球技大会（高校生徒会主催）

〔マネジメントタイム〕

朝と放課後、また個人面談期間中に実施しているマネジメントタイム（以下 MT）も、導入から 6 年目を迎えた。朝の MT では、始業前に早めに登校して自主的に学習する生徒たちの姿や、複数のクラブで朝練を行う様子が見受けられ、放課後の MT では、クラブ活動・教師や卒業生チューターへの質問・自主学習・探究活動など、生徒たちは自分の取り組みを自由に選択することができる。2021 年度に作成し、2022 年度からスタートした「MT 5 年計画」に基づき、その折り返しとなる今年度は、これまでの振り返りを踏まえ、「STAGE3」として、MT の更なる活性化と質の向上を目指している。これまで教員主導で進めてきた MT であるが、本年度は早期に複数の生徒から声があがり、生徒自身が企画・運営を行うプログラムも数多く見受けられた。MT が生徒の中にもずいぶん浸透してきたとの実感が得られた 1 年であった。

〈1 学期実施内容〉

- たけのこ掘り
- 世界最古の文字で名前を書こう！シュメール人の楔形文字
- サイコロゲーム
- 熱化学
- 炎色反応を見てみよう！
- 言葉に親しむカードゲームカフェ
- 通訳 MT ～JOIN US IN OUR MT～
- 英検模擬面接
- 模擬裁判
- 読売テレビ本社見学
- 七夕
- スーパーボールすくい
- 英語ディベート

〈2 学期実施内容〉

- 裁判所見学
- 関関同立フェア
- 英検模擬面接
- ベンチプレスチャンピオン

○人狼
○論理と思考の館からの脱出
○アイヌミンタラ
○科目選択
○私だけの香水
○謎解き
○Cafe Libra
○古典特訓
○クリスマス
○朗読
○裏山清掃
○ピアノ発表
〈3 学期実施内容〉
○Cafe Libra
○けん玉
○泥団子

〔読書活動〕
国語科による文章力養成プログラムの一環として、特に中学生には全学年で新聞投書や読書感想文指導を継続して行っている。また、中学部の取り組みとして、始業前の朝読活動が全学年で定着している。一方、複数教員からなる読書活動推進委員会が、有志生徒によって組織された図書委員会と連携しながら、図書通信発行、ポイント制導入、おすすめ本の紹介、読書アプリ「ビブリア」の活用など、様々な活動を行いながら、今年度は以下のようなイベントを企画・実施した。
〈具体的な取り組み〉
○通年：ブックトーク（年 3 回）
○10 月・12 月：図書委員による教員読書インタビュー
○11/14~16・2/6~8：朝読 MT「Cafe Libra」
○12/12：朗読 MT「言ノ葉サロン」（ゲスト：劇団「突劇金魚」山田蟲男さん）
○1 月～2 月：学期末ポイント還元祭

◎達成状況
学校教育診断アンケートの結果は以下のとおりである。数字は、①「よくあてはまる」・②「ややあてはまる」の 2 つを合わせたパーセンテージ。

〔生徒の結果〕
1「自分自身は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる」
7「本校に入学して、自主性が向上した」
13「自分自身は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

	中学	高１	高２	高３
項目 1	72(71)	58(53)	61(70)	87(85)

項目 7	80(83)	79(63)	68(69)	81(85)	
項目 13	80(78)	72(64)	62(58)	69(79)	〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔保護者の結果〕

1「お子様は、自習室や家庭内などで積極的に学習に取り組んでいる」
7「入学後、お子様の自主性が向上したと感じられる」
13「お子様は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

	保護者	
項目 1	68(73)	
項目 7	79(80)	
項目 13	64(67)	〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔教員の結果〕

7「本校の教育活動を通じて、生徒の自主性が向上している」
12「生徒は、部活動・生徒会・委員会活動に積極的に取り組んでいる」

	教員	
項目 7	81(89)	
項目 12	85(93)	〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

今年度のクラブ加入率は、中学生が 92.5%（昨年度 74.3%）、高校生が 76.6%（昨年度 69.4%）と、全体で 8 割弱の生徒が何らかの部活動に参加していた。昨年度と比して、加入率が大幅に増えているのは、中高ともに新入生の入部率が高かったためである。特に高校 1 年生は、他の項目でも同様の傾向が見られ、3 項目ともに昨年度の高 1 生よりも数字が高かった。また、項目 7 に関して、高校 3 年生の結果が 8 割を超えていることから、本校の各種取り組みが、生徒の自主性伸長に寄与していることが窺える。

なお、評価指標としての設定はしていないが、目標 1 に関連する「読書活動」（項目 15）について、昨年同様、全項目中、唯一否定的評価が高かったため、あえて取りあげておきたい。本校の読書活動は、先述のとおり、中学部また読書活動推進委員会を中心として、各種取り組みを行っている。中学生は、始業前の朝読の取り組みが定着している様子が数字からも窺えるが、高校生また保護者の肯定的評価は 2 割程度しかなかった。ただ、中学・高 1・高 2 の数字が、昨年度比でそれぞれ 10 ポイント程度上がっていることから、読書活動推進委員会を中心とした様々な取り組みが、確実に生徒の行動に影響を与えているものと思われる。

〔生徒の結果〕

15「入学後、読書をする機会が増えた」

	中学	高１	高２	高３	
項目 15	72(58)	24(14)	27(18)	19(28)	〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔保護者の結果〕

15「入学後、お子さまが読書をする機会が増えたと感じられる」

	保護者
項目 15	20(25) 〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔教員の結果〕

14「本校は、生徒の読書への興味や意欲を高める活動を推進している」

	教員
項目 14	81(86) 〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

Ⓐ今後の課題

本校では、毎週土曜日も授業を行っているが、2025 年度より、授業を週 5 日制（月～金曜日）とし、土曜日を柔軟に活用できる体制をつくり、生徒の主体性や探究力など、更なる人間力向上を目的とした「サタ活」を導入する予定である。具体的には、これまで主に放課後に行っていた MT や各種行事に向けた取り組みを、土曜日に集中して行うことで、それぞれの活動をより充実したものにできると考える。また、校地移転後、「学外（島本地域）の人たちとの交流を深める計画」については、コロナ禍で一旦リセットされたが、今年度 11 月に『秋の交流行事「集まれ! Seiryo Dream Fes」』と銘打って、島本地域の方々を学校にお招きし、本校の様々な教育活動を披露することができた。今後は、この交流行事を起点とし、生徒会が計画を進めている「縁プロジェクト」の発展へとつなげていきたい。

<u>重点目標 2　情報モラル教育の推進と更なる ICT 機器活用力の向上</u>

→　今年度は、生徒 1 人 1 台の iPad 導入から 7 年目の年にあたり、全校生徒が iPad を所持するようになって丸 5 年が経とうとしている。Classi や GoogleClassroom 等の学習に関するソフトウェアは、日々ホームルームや授業において、全学年で活用している。また、情報モラル教育については、人権教育委員会が重点目標として掲げ、各学年ごとに、情報モラル LHR を行っている。

Ⓟ評価指標

生徒対象	学校教育診断アンケート	設問番号 2・5・8
保護者対象	学校教育診断アンケート	設問番号 2・5・8
教職員対象	学校教育診断アンケート	設問番号 2・5・8

Ⓓ取組状況

［授業］

日々の授業は、教室前方に設置された短焦点プロジェクターを使用して行われることが多い。生徒は、iPad 内のノートアプリ（GoodNotes）を使って授業を受け、授業中に

使用する教材や課題についても基本的には配信が主となっている。また、教科に関連するアプリも複数インストールされており、適宜、有効活用されている。一方で、数学の授業では、ICT 機器を活用しながらも、記述問題の解答作成指導のために、あえて教師が板書し、生徒たちもノートに自筆で記入することがある。学習関連以外では、朝礼連絡や落とし物の連絡等も Classi を通じて連日行われている。また、保護者に対しても、学校からの連絡は基本的に紙媒体ではなく、Classi やメール配信サービスを活用して、データで配信している。

［情報モラル教育］

中学・高校それぞれに、特に新入生に対する初期指導を手厚く行っている。また、中学では、青凌独自に作成した「7Rules」を用いた継続的な指導を行いつつ、「道徳」の授業でも、情報モラルについて取り上げるようにしている。高校では、LHR 以外に、2 年次には、全員必修の「情報」の授業でも、情報モラルについて継続的に学習を行っている。

〈具体的な取り組み〉

- ○ 4 月：中学 LHR「iPad 利用 7Rules 作成」
- ○ 4 月：高 1 LHR 「ICT オリエンテーション」
- ○10 月：中学・高 1 LINE 講習会
- ○11 月：高 3 LHR「啓発ポスター作成」
- ○ 1 月：中学 LHR「7Rules 振り返り」
- ○ 1 月：高 2 人権講演会

◎達成状況

〔生徒の結果〕

2「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」
5「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」
8「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

	中学	高１	高２	高３
項目 2	97(94)	90(91)	90(90)	95(96)
項目 5	95(94)	96(92)	89(92)	95(94)
項目 8	93(94)	94(85)	84(80)	87(91)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔保護者の結果〕

2「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」
5「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」
8「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

	保護者
項目 2	94(95)
項目 5	96(96)
項目 8	90(91)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔教員の結果〕

2「本校は、iPad や Classi などの ICT ツールを有効的に活用している」

5「Classi・メール配信・ホームページなどで学校の情報は適切に伝えられている」

8「本校は、情報モラル教育を十分に行っている」

	教員
項目 2	98(98)
項目 5	98(98)
項目 8	72(84)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

項目 2・5 については、生徒・保護者・教員それぞれに、ほぼ 9 割の肯定的評価が得られた。校内に、ICT ツールが完全に定着し、情報共有の手段としても最大限に活用されている状況がわかる。一方で、項目 8 の「情報モラル教育」については、生徒・保護者の受け止めに比して、教員の評価がやや低かった。昨年度、「人権教育」に占める「情報モラル教育」の割合が高すぎたとの振り返りを受けて、バランスを取るべく、指導計画の見直しを図ったことが、現場教員の受け止めに少なからず影響を与えたものと思われる。

Ⓐ今後の課題

ICT については、高評価に甘んじることなく、ソフトウェアやデジタル教材の見直し・選定も含めて、引き続き有効活用について検討を重ねたい。一方、情報モラル教育の推進については、引き続き、中学生と高校 1 年生に対する、いわゆる「初期指導」を徹底しつつ、情報モラル教育にとどまらない、広い意味での「人権教育」の充実に努めたい。具体的には、「思いやり」や「言葉づかい」について考えさせる機会を、学齢・学年の状況に応じて設定していく予定である。

重点目標 3　協働的・探究的な学びの充実と自律的な行動力の育成

→　本校の探究活動は、学習支援部が中心となって進めている。総合的な探究の時間を含む探究活動での多様な経験を通じて、自分自身を理解し、他者と協働しながら地域や社会の課題やその解決方法を主体的に見つけだし、プレゼンテーションや論文で自分の主張を他者へ的確に伝えることができる生徒の育成を目指している。

Ⓟ評価指標

生徒対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・9・11
保護者対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・9・11
教職員対象	学校教育診断アンケート	設問番号 3・10

Ⓓ取組状況

〔探究活動〕

中学生・高校生ともに、各学年ごとに実施している探究活動では、課題の設定や調べ学習、発表（プレゼンテーション）などが、個人やグループ単位で行われるが、これ

らは生徒の自主性の伸長に少なからず寄与している。グループによる発表では、仲間と協力することで得られる自信や達成感を抱いた生徒も多い。

〈具体的な取り組み〉

〇中学：宿泊行事・行事報告会
　　新聞プレゼン・ディベート大会・英語スピーチコンテスト

〇高１：スタディサプリ探究講座「課題発見型」

〇高２：QUEST

〇高３：TWICE PLAN「論文 WORK」

［生徒指導］

生徒指導部では、校訓「自主自律」を具現化すべく、自己管理ができる生徒の育成を目指して、主として、授業を通じた生徒指導をおこなっている。また、自己実現の態度を育成するために、学校生活を通して、ルールやマナーを自主的に意識することができる生徒の育成を目指している。更には、中学・高校卒業後を見据え、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることで、社会の中で自分らしく生きることができる大人に導いていくことを最終目標としている。

〈具体的な取り組み〉

①自分で自己管理をすることができる生徒に導く
　→「自立」に留まらない「自律」を目指す
　〇校則をはじめとするルールの理解と徹底
　〇登下校におけるルールの徹底とマナーの啓発

②社会の中で自分らしく生きることができる大人に導く
　→授業・学校生活を通じた生徒指導の実践
　〇時間管理：登下校・ベル即授業
　〇身だしなみ：社会において適切な服装、挨拶
　〇マナー：周囲とのコミュニケーション
　〇美化：学習に臨む適切な環境づくり

◎達成状況

〔生徒の結果〕

3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」
9「本校に入学して、礼儀やマナーなどの社会性が向上した」
11「入学後、自分の意見や考えを表現する力が向上した」

	中学	高１	高２	高３
項目 3	93(89)	93(89)	87(90)	90(94)
項目 9	88(88)	85(71)	76(72)	82(87)
項目 11	87(80)	81(71)	78(77)	86(91)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔保護者の結果〕

3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」
9「入学後、お子さまの礼儀やマナーなどの社会性が向上したと感じられる」

11「入学後、お子さまの、自分の意見や考えを表現する力が向上した」

	保護者
項目 3	90(91)
項目 9	77(78)
項目 11	73(75)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

〔教員の結果〕

3「本校は、協働的・探究的な学びを取り入れた授業や活動が充実している」

10「本校は、生徒の、自分の意見や考えを表現する力を向上させている」

	教員
項目 3	100(98)
項目 10	92(93)

〈単位：%、(　)内は昨年度結果〉

項目 3 について、生徒、保護者、教員ともに、肯定的評価がほぼ 9 割を超えており、3 年ないし 6 年を見通した本校の探究活動が、各方面に定着していることがわかる。項目 9 と 11 は、高校 2 年生が他学年に比してやや低い数字となっているが、経年で見ると、どの学年も昨年度よりも数字が上がっており、特に項目 9 の高校 3 年生の結果は、10 ポイント上がっていた。本校での体系的な探究学習、また日常の生徒指導を通じて、最終段階での自律的成長実感につながっていることが読み取れる。

Ⓐ今後の課題

まず、中学部の総合学習については、現行の「発表」を軸とした取り組みを整理し、進路探究を目標とした体形的な流れに再構築すべく、次年度を確認の 1 年に充てたいと考えている。他方、高校部では、昨年度より、従来、学級担任が担当していた総合学習（総合探究）の時間を、総合探究担当者が横持ちで受け持つこととした。教員・生徒それぞれに、これまでの担任による指導よりも更に意識が高まり、授業の質が一段上がったという受け止めである。本年度に得られたノウハウを生かし、次年度の更なる充実につなげたい。

以上

2024年度 大阪青凌中学校・高等学校 学校評価委員会 実施報告

第1回実施日時：2025年3月12日（水）13:00～

・学校長より、本校の教育活動とアンケート結果について報告

・質疑応答・ご意見

①重点項目を念頭に置いて、行事が組み立てられている。それが、生徒の満足度の高さにもつながっているように思う。

②体育祭の種目はどのように決めているのか？

→基本は保健体育科で組み立てているが、生徒（実行委員）の発案による種目も2～3ある。

③体育祭を外部の体育館（Asue アリーナ大阪）で実施しているとのことだが、中学生も現地集合しているのか？

→中1の保護者からは、入学してすぐの中学生に朝潮橋の現地集合は難しいとのご意見をいただいている。

④青凌祭（文化祭）のクラス演目は、生徒が主体的に決めているのか？

→生徒中心に決めている。毎年、舞台発表を希望するクラスが多く、抽選になっている。次年度は、少しでも機会を増やすべく、舞台に出られる学級数を増やす予定である。

⑤演劇は総合芸術であり、様々な役割分担を経て、最終的に一つになるところに舞台の良さがある。発表時間が20分というのは、少し短いのでは？

→最近は、スクリーンに背景画像を投影するクラスが増えている。大道具作成で得られるものもあるだけに、省略されるのは残念ではあるが、一方で、時間短縮にはつながっている。

⑥自主性を育てる様々な仕掛けがすばらしい。教員主導で、やらされるばかりの教育では、生徒の成長につながらない。大阪青凌は、今後ますます発展すると思う。

→以前は、時間を増やす発想が強かった。島本に移転してからは、各コースの授業時間数をそろえ、放課後に自主的な学習ができるよう環境を整えた。

⑦土曜日を有効活用する「サタ活」の導入は、勇気がいったことと思う。進学率と天秤にかけて、よく決断された。

⑧今後、中学生を中心に、地域交流を進めていくとのことだが、島本町内でも、私学人気が高まっているように思う。今後、大阪青凌に期待するところは大きい。

⑨デジタル化により、活字離れが急速に進んでいる。一方で、スウェーデンでは紙と鉛筆でのアナログ教育に戻るという動きもある。デジタルは便利な反面、頭で考える力を弱めてしまう。読書推進を今後も大切にしてほしい。

以上

2024年度 大阪青凌中学校・高等学校 学校評価委員会 実施報告

第2回実施日時：2025年3月15日（土）12:00～

・学校長より、本校の教育活動とアンケート結果について報告

・質疑応答・ご意見

①iPadの活用について

iPadを使用して授業やさまざまな活動で活用する機会が増え、デジタルでできることが増えている。先生方のサポートに感謝している。

②海外研修の経験

子どもにパスポート申請を自分でさせた。心配もあったが、親子共に満足度が高く、良い経験になった。

③青凌祭について

●生徒が主体的に準備し、考えて行動できていた。

●先生の関わりが大きいクラスも見受けられるため、より自主自律を重視して進めてほしい。

④イギリス海外研修の参加人数について

希望者増加に伴う定員拡大の要望があったが、少人数制の品質維持や安全管理の観点から、現行の枠組みを維持する予定。代わりに、短期留学（ターム留学）の導入を検討している。

⑤読書活動の推進

実際には勉強や宿題があり時間を取るのが難しい。どうなれば理想か？

→課題や宿題で時間が取れない中でも、就寝前などに自分の興味のある本を楽しんでほしい。YouTube視聴時間の半分でも活字に触れることを意識してもらいたい。

⑥ブックツアーの再実施

以前、教員が生徒を引率して書店で本を選ぶブックツアーを実施していた。保護者会の支援があれば、読書活動の推進につながるのではないか。

→再実施を検討するため、協力をお願いしたい。

⑦情報モラル教育について

SNSアプリの流行は変化が激しく把握が難しいため、新任や若手の先生からの情報共有が重要。iPadの活用が定着する一方、大学で初めてPCを使う生徒もいるため、キーボード付きケースの導入が進んでいることに感謝している。

⑧協調的・探究的な学び

アンケート結果の違いについて、課題が出されたときは取り組めるが、課題が出されなければ自己表現が十分にできないように思える。

⑨生徒と教員の距離感

生徒との距離が近く、よく話を聞き、物事の考え方を教えてくれることに感謝している。

⑩文理選択について

高 2 で文理選択をするが、特進理系は国公立向けのカリキュラムとなるため、文系大学志望の場合の対応が不安。

→すべての生徒が国公立理系を目指すわけではないので、まずは教科担当や担任に相談してほしい。

⑪自習室の利用について

現在、自習室は 20 時まで利用できるが、テスト期間や長期休暇中に利用時間が変わるため、学習習慣が途切れやすい。通年で自習できる場所を確保できないか。

→教員の働き方も考慮しつつ、外部の協力を得ることも含めて検討する。

⑫生徒の挨拶について

特に部活動をしている生徒の挨拶がしっかりしていて、気持ちが良い。

以上